

福岡県議会議員(糟屋郡)

富永よしゆき »»

» 県政報告

糟屋郡7町(宇美町・粕屋町・篠栗町・志免町・新宮町・須恵町・久山町)にお住いの皆さん、こんにちは!地元選出の県議会議員の富永よしゆきです。新知事の誕生について他、富永よしゆきの活動報告をさせていただきます。

2021年5月
Vol.8

任期折り返し
地点等

» 新知事に服部誠太郎さん(66)が就任されました!

4月11日(日)に開票された福岡県知事選挙におきまして、服部誠太郎氏が初当選を果たされました。任期は、2025年4月10日迄の4年間です。服部新知事は、1977年に福岡県庁に入庁され、財政課長や福祉労働部長等の要職を歴任。小川前県知事時代には副知事を9年間務める等、44年間に渡つて、福岡県政を支えて来られた福岡県初の『生え抜き知事』です。これまで以上に「県民ど真ん中の県政」の実現のため、県内各市町村との連携強化を図ろうとする新知事の手腕は、即戦力として期待されています。



» 服部新知事が4月臨時議会で初登壇!



議席の変更によって、議席番号が7から8へ。
最前列の中央部が富永の議席です。

4月27日(火)に臨時議会が開かれ、服部新知事の挨拶に続き、4月の県議補選で当選された3名の県議や新任幹部の紹介が行われました。また、不在となっていた副知事2名と教育長の選任や任命の他、福岡市と久留米市の飲食店等の時短要請に対する協力金(総額約256億4,000万円)のための一般会計補正予算など4議案が提案され、いずれも賛成多数で可決されました。服部県政が本格的にスタートしました。私も6月定例会に向けての準備を進めていきます。

» 服部誠太郎新知事と糟屋郡7町について

3月29日(月)に粕屋町大隈で行われた街頭演説会では、ご自身が糟屋郡に隣接する福岡市東区にお住まいであることを公表された上で、7町の魅力とこれから先の更なる発展の可能性に言及され、福岡県として7町としっかりと連携し、糟屋郡の農林水産業の支援をはじめ、糟屋郡で暮らす皆さんの生活が向上する様に道路、交通インフラの拡充や子育て支援の強化を図っていく旨の演説をされました。私も地元のあらゆる世代、様々な立場の皆さんとの意見をしっかりとお聞きして糟屋郡の更なる発展と県政推進に尽力して参ります。



←4/2糟屋郡7町を走る選挙カー
写真は篠栗町筑前山手駅付近



↑3/29街頭演説会には、各町長や議員をはじめ多くの団体の方が集まりました。

22世紀につながる県政に! 糟屋郡7町の未来に全力トライ! 古い政治に強烈タックル! »

» 議会活動編

» 育休退園のない保育所の継続利用を! 市町村への改善指導を開始!

富永は、2020年の12月議会の一般質問で『育休退園問題』について、県内60市町村で異なる保育所の利用調整が行われていることを指摘した上で、とりわけ糟屋郡内の5町を含む県内9市町が行っていた上のお子さんを一律に退園させる対応が国の指針に沿ったものではないため、今後、そのような対応が行われることがないように市町村に対して指導を行うことを知事に求めていました。これに対して、今般、県から市町村に対して改善指導の通知が発出されましたのでご報告させていただきます。※新宮町、久山町、篠栗町、須恵町、宇美町が対象

» 12月議会での富永の指摘と要望！育休退園のここが問題だっ！

- ・国の指針に従わず、県内の市町村間で制度の不均衡が生じているのは大問題！
- ・急に退園させられる子どもの運動不足や政審状態等を考慮すると心身ともに心配。
- ・環境が変わり、情緒不安定な上の子と新生児の育児の両立は保護者にとって困難。
- ・働き続けること、2人目、3人目を産み、育てるとの大きな壁となり得る。
- ・保護者の育児休業明けの復職と子どもの保育所の確保の両立が困難になっている。
- ・保護者の職業選択の自由が脅かされる可能性がある。
- ・子どもたちが住み慣れたまちで一貫して通園できることで地域との繋がりも強くなる。
- ・子どもたちのシビックプライドの醸成が未来のコミュニティを形成していく。
- ・男性の育児休業の取得推進や女性活躍推進を掲げる行政の本気度に疑問を感じる。



※動画でもご覧頂きたいです。



一般質問登壇時の様子
(議会事務局提供)

保育所利用の自治体間の不均衡の是正と待機児童問題の根本的な解決を早期に求める！

» 県福祉労働部子育て支援課から各市町村保育所等主管課長宛に出された改善通知依頼文の内容

令和3年度保育所等関係事務指導監査から追加する指導事項

指導事項	根拠法令
保護者が育児休業を取得する際、既に保育所を利用している上の子どもに継続利用の必要性があるか、適切な方法で判断すること。	子ども・子育て支援法施行規則 第1条の5第9号

【追加する理由】

【2021年3月18日付】※一部抜粋

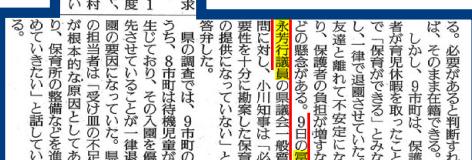
保護者が育児休業をする際、既に保育所等を利用している子どもについて、保護者の状況や子どもの発達上の環境に配慮して継続利用の必要性がある場合には、市町村において保育の必要性を認定する必要があります。(子ども・子育て支援法施行規則 第1条の5第9号)今般、一部の市町村において、利用調整を行わず一律に退園とするいわゆる「育休退園」の取扱いを行っている事例が確認できた一方、保護者や子どもの状況に配慮した調整を行うこともなく、継続利用を認めている事例も確認できました。県としましては、上の子どもについて、継続利用の必要性があるか、児童福祉の観点から適切に判断いただきたいと考えており、令和3年度の本指導監査から上記指導事項を追加しますので、該当する市町村におかれましては、あらかじめ必要な改善を行っていただくようお願いします。

富永の思い

2019年4月の就任以来これまで2年間で6回、一般質問に登壇する機会を頂きました。常に、地元糟屋郡でお聞かせ頂いたご意見をもとに調査をし、登壇、質問をして参りましたが、中でも、交通インフラのこと、子どもや子育てに関する内容が多く取り扱わせて頂いたのは、人口増加が続く糟屋郡ならではの課題が多くあるからだと感じています。会派最年少議員として、あらゆる世代、様々な立場の皆さまのお声を県政に届け、よりよい糟屋郡の未来の実現、福岡県の更なる発展を目指して、「子を持つ親の目線と親や祖父母と思う子や孫の心で」をモットーにお声を聞かせて頂いています。お気軽にお声かけください!

▼その他、富永がこれまでに一般質問で取り上げてきたテーマ。

- ラグビーW杯成功に向けての取組みについて(糟屋地区の渋滞緩和)
- 本県の県立高校における校則について(ブラック校則と成人年齢引き下げ)
- 今後の市町村支援と地域振興について(宇美町町政100周年記念事業)
- 本県における今後の交通ネットワークの維持について(コミュニティバスの広域化)
- 押印廃止と行政のデジタル化について
- コロナ禍における義務教育のICT化とプログラミング教育について



2020年12月10日(木)読売新聞朝刊より

» 地域活動編 2020-2021

日頃から地域の皆さん、団体の方や町議会議員の方々から様々なご意見やご要望を聞かせて頂いています。可能な限り、糟屋郡内各所をまわり現地を見せて頂いています。これまでの活動の一部をご報告させて頂きます。
もっと安心・安全に暮らすことのできる糟屋郡の実現のために皆さんのお声をお聞かせください。

» 1.通学路の安全確保(新宮町太郎丸バス停付近編)



BEFORE



AFTER



BEFORE



AFTER



↑横大路町議と排水の確認

晴天時でも擁壁から水が染み出し、通学路でもある歩道がいつも水浸しで子どもたちも車道を通行しなければならず、危険だと保護者の方からお声を頂戴しました。地元新宮町の横大路政之町議とともに、国道事務所及び新宮町役場の職員の方に立ち会って頂いて検証し、後日、国道側、町道側双方の修繕をして頂きました。

» 2.河川・ため池等の危険箇所調査 (宇美町貴船地区編)



宇美町貴船地区の内野川周辺の危険箇所や近年、全国的にも問題になっている農業用ため池(金坪池)の調査を行いました。当時は、宇美町の安川繁典町議、平野龍彦町議、役場の担当課の方、地元の農家の方、住民の方にも同行して頂きました。それぞれの立場からお話しを聞かせて頂くことができ、有意義な意見交換をすることができました。早期に改良できるように引き続き、はたらきかけて参ります。



» 3.被災地でボランティア活動



2020年7月と8月に計4回に渡り、大牟田市の内水氾濫で被災された地域で家財の搬出などのボランティア活動に参加させて頂きました。篠栗町の横山和輝町議(写真左下:右)とともに、被災されたお宅に伺う中で、水路の多い地元(糟屋郡)においても今後、起り得る都市型の水害に対する備えの必要性を強く感じました。



» 4.若い世代との交流・議員間の連携



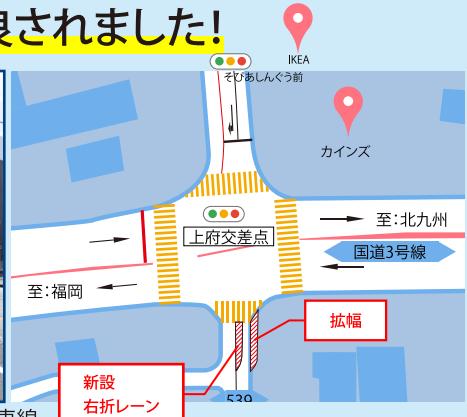
大学生のインターンの受け入れに加えて、積極的に大学を訪問し、学生との意見交換の機会も頂く等、数少ない30代の県議として、活動の場を広げてきました。また、篠栗町の藤木高裕町議(写真右)をはじめ、時に、党派も越えて、各地の若手議員の皆さんとの連携も強化しています。

» 新宮町上府交差点(県道側)が拡幅改良されました!

国道3号と県道539号(小竹下府線)が交わる新宮町の上府交差点。特に、土日の夕方に多く見られたいわゆる「IKEA渋滞」。地元の方や地元選出の横大路町議からは、信号機1つで状況は変わらないのではないかとの意見を聞いていました。長年、地元の皆さんからご要望が多かった県道小竹側の右折専用車線の新設とそれに伴う矢印信号の設置が2021年3月(年度内)に完了しました。これにより、「そびあしんぐう前交差点」周辺の渋滞の緩和が期待できます。



↑新設された矢印信号と右折車線



2021年3月5日(金) 一般質問

» コロナ禍における義務教育のプログラミング教育について



■質問項目は以下の4点です。

- ①プログラミング教育の実施状況と今後の課題について
- ②ICT活用指導力に差が生じないような取組について
- ③プログラミング教育の狙いと具体例について
- ④教員の負担軽減のための取組について



未来の学びコンソーシアムによる↑
「小学校中心としたプログラミング教育ポータル」
<https://miraino-manabi.jp/>

プログラミング教育関連資料
福岡県義務教育課ホームページ



» 質問の狙いと富永よしゆきの思い

2020年度は、小学校におけるプログラミング教育の必修化を含む新学習指導要領の実施元年です。これまで、学校現場のICT化の遅れが度々、指摘されてきた本県ですが、コロナウイルス感染症対策として、各自治体でタブレット端末の配布等を進めた結果、急速にICT化が進みました。しかし、保護者の方からは、お子さんが通う学校と他校、お住まいの自治体と他の自治体で生じる差を心配するお声を多く頂戴しました。そこで、ハード面の整備に続き、ソフト面(ICT活用した指導力)で学校間や自治体間で差が生じないような取組について教育長に質問するとともに、それに伴って教職員の負担が増え、結果的に教育の質の低下とならないようにと要望しました。

プログラミング教育は、プログラミングそのものではなく、『プログラミング的思考』の習得が目的です。

» 教育長の答弁と今後の課題

城戸教育長(当時)からは、今般整備された1人1台端末を活用して論理的思考力を育む学習活動の充実が必要。今後、教員のICT活用指導力等のソフト面での格差が課題となる可能性がある。ICT化へハード、ソフト両面の充実のために研修会を開催し、教員に対しては、教材の準備や指導計画の作成が負担なくできるよう支援することが必要である。との答弁がありました。また、各市町村の学校教育のICT化の推進を支援し、県内全ての児童生徒が教育のICT化の恩恵を受けられるように取り組むとの決意がありました。



元・デパートマン議員

富永がご紹介したい福岡県の取り組みと糟屋郡の逸品！★★★★★

○「ふくおかジビエの店」認証制度

福岡県では、捕獲されたイノシシやシカの肉を地域の魅力的な資源として有効活用する取り組みを推進しています。県内農林業の鳥獣被害対策の1つの策として、富永も期待しています。県内の獣肉処理加工施設で処理されたジビエを常設メニューとして提供する飲食店は「ふくおかジビエの店」として認定され、福岡県のホームページ等で紹介されています。



篠栗町

左：「県産ジビエのボロネーゼ」は、鹿肉：猪肉の割合が1:1。
中：「県産ジビエ 鹿もも肉のロースト」は地元産野菜と一緒に
右：「ふくおかジビエの店」認定プレート

欧風食堂Ottantotto 糟屋郡篠栗町中央1-3-3

○「福岡県6次化商品コンクール」

福岡県では、6次化商品の魅力向上と販売促進を目的に、2014年から「福岡県6次化商品コンクール」を開催しています。2020年度の同コンクールで宇美町のKOYASU FARMさんの誕生と成長を願うヤギミルクアイス「産み愛す」が特別賞を受賞されました。宇美町で飼育したヤギのミルクを使用したアイスには、あまおう味や八女茶味も登場しています。



受賞ポイントは、独自性と品質。あっさりしていて美味しいとの声。3月に県庁ロビーで開催された販売会では、売切れのアイテムもあり、大人気でした。(右)代表の小林さんと県庁ロビーにて。

KOYASU FARM 糟屋郡宇美町平和1-15-25

22世紀につながる県政に！

福岡県議会議員 富永よしゆき事務所

〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町乙犬678-1

<https://t-yoshiyuki.jp> ホームページはこちら

☎092-931-5726 fax092-931-5727



富永芳行（当選1回・37歳）

- 県立福岡高等学校(高54回卒・ラグビー部)
- 早稲田大学(アジア社会論/ラグビークラブ)
- 株式会社博多大丸(販促企画/物産展等担当)
- 立憲民主党福岡県総支部連合会糟屋郡政策担当
- 福中・福高同窓会顧問
- 妻、長男(6)、長女(3)と篠栗町乙犬在住